

おかげさまでささえあいの家は2周年を迎えました

ささえあいの家の当番・営繕の会・講座講師が参加し

2016.2.20 2周年懇談会を開催

松井運営委員長：

地域のみなさんの力を結集して今日があります。
これからも支えたつもりが支えられてやっていきましょう。

ささえあいの家への参加動機・思ったこと

立元：

ささえあいの家のフローリング工事もやらせてもらいました。
見違えるような家になったが、これは一人の力ではなく、みんなの
力でできたことです。

困っている人があったら、我々で助け合っていけたらいいと思っています。
まち全体が助け合っていきたいです。

太田：

「いつもいられる場所があるといい、福祉活動の拠点があるといい」
と言っていたら、「ささえあいの家」としてできました。少しずつ、
わずかな時間を割いて、互いに支え合っていけたらいいと思います。
敷居が高いと言う人がまだいます。

近藤：

パソコンの勉強を楽しみにして来ていただける方々と交流できて、
私も楽しく参加させてもらっております。2年を経過、53回を欠席
することなく、務めさせていただきました。

山田：

この2年早かったです。同じ思いの仲間を増やすことが、とても大
切なことだと思います。ボランティアは差し出せる時間とゆとりがあ
ってできることなので、互いに保険をかけあう意味で、マンパワー
の充実を図らないと先細りになると思います。

大澤：

去年役員をやってつながりができたから、営繕の会の仲間にな
りました。歳を取ると電球一つ替えるのにも苦労すると思います。
助け合ったらいいと思います。

山下：

立ちあがる時から関わっていました。立ち上げには大変なこと
がありました。エネルギーとパワーとやる気があってできました。
当時の人たちにありがとうと言いたいです。

大竹：

生活支援ボランティアに応募して以来関わっています。ちょっ
としたことでも役立ったなあと思えます。45歳です。これくらい
の年代の人を誘いたいと思います。

名知：

私でもできることがある。ちょこっとできると思って入会させ
ていただきました。ただここへ来るだけでくたびれる体です。

小谷：

私は高齢でボランティアしてもらいたい方ですが、五体満足な
のだから、する方にも廻らないといけないと思って、パソコン
相談を担当しています。最近囲碁でお手伝いをと、講座も始め
ました。ボランティアは天に貯金することだと思います。

今後どう発展させるか
議論しました。

多くの方々の
ご利用を
お待ちしております

